

放課後子ども育成教室 利用場所アンケート 小学校区ごとの回答数・回答率

◎小学校区ごとの回答数・回答率

小学校区	クラブ名	回答者数 (保護者)	回答者数 (児童数)	在籍児童数 (令和6年5月1日現在)	回答率
広陵西小学校	あすなろクラブ あすなろ第二クラブ	142	157	245	64%
広陵東小学校	かしのきクラブ	70	100	167	60%
広陵北小学校	くすのきクラブ	46	54	97	56%
真美ヶ丘 第一小学校	ひまわりクラブ	37	47	119	39%
真美ヶ丘 第二小学校	すぎのきクラブ	55	62	117	53%
	合計	350	420	745	56%

◎学年ごとの回答数・回答率内訳

	広陵西 小学校	広陵東 小学校	広陵北 小学校	真美ヶ丘 第一 小学校	真美ヶ丘 第二 小学校	合計	在籍児童数 (令和6年5月1日 現在)	回答率
1年生	51	25	12	12	20	120	210	57%
2年生	43	26	18	14	17	118	204	58%
3年生	38	19	13	7	10	87	163	53%
4年生	14	19	5	7	8	53	98	54%
5年生	10	9	5	6	5	35	52	67%
6年生	1	2	1	1	2	7	18	39%
合計	157	100	54	47	62	420	745	56%

Q.学童の利用希望者数が受入可能人数を上回り、あなたのお子様が既存の施設で受け入れできなくなった場合、あなたが希望する対応は次のうちどれですか？

回答	学校から離れた施設であっても、受け入れ場所を町が確保し子どもを預かってほしい	学校から離れた施設は不安なので、既存の施設に空きが出て利用できるようになるのを待つ (待機児童名簿に登載)	利用申請を取り下げる (学童は利用しない)	合計
広陵西小学校	104	29	9	142
広陵東小学校	46	16	8	70
広陵北小学校	36	5	5	46
真美ヶ丘 第一小学校	26	3	8	37
真美ヶ丘 第二小学校	24	19	12	55
合計	236	72	42	350

Q.地元の公民館・集会所を実施場所とした場合、利用を希望しますか？

回答	利用を希望する	利用を希望しない	合計
広陵西小学校	108	34	142
広陵東小学校	29	41	70
広陵北小学校	39	7	46
真美ヶ丘 第一小学校	27	10	37
真美ヶ丘 第二小学校	36	19	55
合計	239	111	350

Q.学校長期休業中(夏休み等)のみの利用登録が可能となった場合、あなたが希望するのは次のうちどれですか？

回答	今までどおり 通年で利用する	長期休業中のみ 利用する	合計
広陵西小学校	119	23	142
広陵東小学校	56	14	70
広陵北小学校	41	5	46
真美ヶ丘 第一小学校	29	8	37
真美ヶ丘 第二小学校	42	13	55
合計	287	63	350

Q.学校長期休業中の学童の実施場所として、利用可能と考えるのは次のうちどれですか？(複数回答可)

回答	地元の公民館・集会所	町内の公共施設 (他校区合同での利用を想定しています)	その他	合計
広陵西小学校	18	16	4	38
広陵東小学校	6	9	4	19
広陵北小学校	7	2	0	9
真美ヶ丘 第一小学校	7	4	1	12
真美ヶ丘 第二小学校	10	6	0	16
合計	48	37	9	94

その他回答

- 学校の教室。
- 香芝市内であれば近いので可。
- 既存のクラブを出来れば利用したい。
- 公民館の周りの道は狭くて送迎できない、他校区になると自宅からけっこう離れて今より送迎に時間がかかるのは厳しい。
- 小学校だとありがたい。運動場もあり、子ども達も勝手がわかっていると思うため。
- 車での送迎ができ、小学校からあまり離れていない場所。
- 運動できる設備は必須だと思う。
- どこでも安全なら良い。

Q.学童の実施場所として、「留守家庭の児童の安全な居場所の確保」以外で欠かせない要素はどれですか？(3つまで選択)

回答	学校からあまり離れてないこと	安全な外遊びの場所があること	送迎時の駐車場があること	特にない	その他	合計
広陵西小学校	104	91	123	4	9	331
広陵東小学校	51	56	57	1	3	168
広陵北小学校	40	31	35	1	0	107
真美ヶ丘第一小学校	27	25	30	1	5	88
真美ヶ丘第二小学校	43	48	45	0	3	139
合計	265	251	290	7	20	833

その他回答

- 施設がきちんとされており、安全な場所であること。
- 地震にある程度強いなどの建物の完全性。
- 高学年になってもひとりで家にほっとけないことも中にはおり、学童に預けても遊ぶ子がいないと言い、行きたがらない。そのため、中学に向けて他校との関わりも考え、他校交流の高学年のみ集まれる場所があること。
- 災害時でも安心出来る場所。学校から実施場所までの移動時の安全が確保できること。
- 宿題をする習慣を身につけること。
- 安全な場所で見守ってくれる大人が居ること、子どもたちがすし詰め状態にならず快適に過ごせること。
- 通学路の途中にあること。
- 車通りや危険箇所の少ない立地であること。
- 大人の見守りがあって、こどもの「やりたい」を尊重してくれること。
- 子どもが楽しく過ごせること。
- 実施場所によって設備(外遊びの場所、おもちゃ、本、テレビなど)に差がないこと。
- 安全な外遊びの場があること。
- 屋内外共に安全であること。
- わからない問題(宿題など)があれば教えてくれること。
- たよりのある学童の指導者がいること。
- 現状と同じかそれ以上の利用時間で運営していただける場所であること。
- トイレや手洗い場など子供が使いやすいようになっている、室内でも楽しく過ごせるように遊び道具や本などがあること。